

平成 23 年度国立大学図書館協会海外派遣事業参加報告書

大阪大学附属図書館吹田地区図書館サービス課生命科学図書館班
和田 省子

このたび、平成 23 年度国立大学図書館協会海外派遣事業により、韓国の大学図書館を訪
問し調査研究を行ったので以下のとおり報告する。なお、本調査研究は、琉球大学附属図
書館 大谷周平氏と共同で行った。

1.訪問期間

平成 23 年 9 月 25 日(日)～10 月 1 日(土)

2.訪問先 / 担当者

- (1)Yonsei University Library / Mr.Yong-sok, Heo
- (2)Seoul Natinonal University Library / Ms. Ji-won Ahn
- (3)Korea University Library / Mr. Jong-Geon, Guk
- (4)Myongji University Library / Ms. Jeong-Won, Kang
- (5)Sungkyunkwan University / Mr. Ho-seong, Yang

3.調査研究内容

サブジェクトライブラリアンサービスを導入している大学図書館や近年改築や新築した大学
図書館を調査対象として訪問した。各大学図書館では、司書の人事制度、サブジェクトライブラ
リアン、図書館システム担当者などへのインタビューと設備見学を行った。

4.調査研究成果

訪問した大学図書館では、個別の学習スペースやグループ学習室に広いスペースを割き、さら
に座席管理システムで空席状況の確認や予約が可能となっており、快適な学習スペースを提供す
るため充実した設備を備えていた。また、電子新聞や電子書籍の閲覧端末、さまざまな言語の
OS が利用可能な PC や映像編集設備など、ICT 環境も融合した学習環境であった。

人的支援の面では、訪問した 5 大学のうち 4 大学でサブジェクトライブラリアンサービスを
導入していた。大学ごとに導入方法や提供しているサービス内容は異なるものの、より高品質な
図書館サービス実現のために、サブジェクトライブラリアンを重要視しているという点では共通
していた。これは未導入の大学においても同様であった。

韓国のライブラリアンへのインタビューの中で日韓の大学図書館で人材育成や予算面など、多
くの課題が共通していることを実感した。その課題に対する回答の一つが、学習空間としての機
能強化やサブジェクトライブラリアンサービスであることがわかり、有意義な調査であった。